

# なすからすやま 社協だより

11月  
No.171

## 「地域づくりは知人・友人を増やすことから!」



### ボランティア・NPO・市民グループ ネットワーク研修会

10月12日、保健福祉センターで「地域での楽しいなかまづくり」をテーマに、ボランティアやNPO法人・市民グループなどで活動をしている方々の研修と交流会を開催し、32名の方が参加されました。



この研修会は、コロナ禍において、改めて「人のつながり」について考え、より一層、那須烏山市が、安心して暮らせる地域になるために、支え合いの理解を深めることを目的に開催しました。

講師の「とちぎ市民協働研究会」の廣瀬隆人氏に講話をいただき、「地域づくりには、地域で新しい知人・友人を増やし、お互いを大切に思える人間関係をつくることや困ったときに助け合える仲間をつくることで、暮らしは豊かになる」と話されていました。

その後、パネルディスカッションでは、市内の活動者である、『豆腐の会(大金台)』



代表の菊地雄二氏、『とちぎボランティア、NPOセンター ぽ・ぽ・ら』センター長の赤羽幸雄氏、『福祉共育サポーター』の遠藤タツ子氏から、それぞれの活動の内容や仲間との関わりについて、話していただき、参加者からも多くの質問や意見をだしていただきながら、交流を図りました。

最後に、講師の廣瀬氏より、「地元の歴史や地元の人を大切にしていけることが、よりよいまちづくりにつながる」と話をいただきました。

今後、地域の活動者同士の情報交換や交流の場を開催しますので、ご興味のある方は是非、次回の参加をお待ちしております。



南那須公民館前車道

那須烏山市でも大きな被害を受けた台風19号の直撃から1年が経過しました。栃木県内では今も仮住まいをしている方や復旧に向けた工事が行われており、記録的被害をもたらした台風の傷が残る中で、新型コロナウイルスの感染拡大防止など災害ボランティア活動に向けた新たな備えも必要になってきています。



泥を運ぶボランティア

去年、本会が中心となって災害ボランティアセンターを10月14日～11月29日まで設置し、活動延べ回数50回、ボランティア派遣数延べ278名で被災者の復旧復興支援をしました。また、災害救助法や被災者生活再建支援法等の制度以外で発生した課題へ対応するた

「心からひとりの親の繋がる心」を主催



被災情報をまとめる職員

9月13日、NPO法人野うさぎくらぶ(代表矢口和美)の新規事業「心からひとりの親の繋がる心」が開催されました。この事業は、赤い羽根共同募金会が募集した子どもと家族の緊急支援全国キャンペーンを活用しひとり親世帯を応援することを目的とした活動です。

活動の趣旨に賛同した「時々、大家族になろう」「那須烏山市母子寡婦福祉会」「那須烏山市婦人会」などのボランティアの協力のもと、フランクフルト・お菓子・ボールすくいなどが振る舞われ来場者を楽しませていました。矢口代表は「心からひとりを親を応援する」新規事業を今年4月からスタートして、

8月に赤い羽根共同募金の支援の募集があると、「とちぎボランティアNPOセンター」ぼ・ぼ・ら「センター長の赤羽幸雄様からの紹介で、申し込みをさせて頂き今回のイベントを開催することが出来ました。ひとり親を応援するには、

みんなの繋がりがとても大切であり、今回のイベントでも多くのボランティアの方々や団体の方々に支えられて活動出来る事がとても有難い事でした。今後も繋がる様な活動を目標にみんなで提案していきたいと思えます」と話していました。



一球入魂 コロナ禍でもいきいきとスポーツ大会

10月20日、緑地運動公園でいきいきクラブ連合会南那須

支部(支部長野木勝)主催のグラウンドゴルフ大会が開催され、19チーム約100名が参加しました。例年、この時期にレクリエーション大会を開催していましたが、競技における感染症対策が難しいため中止として本大会を実施しました。

今までの大会とは違い、マスクや手指消毒など感染症対策を講じながら、グラウンドゴルフや会員同士の交流を楽しんでいました。参加者は「レクリエーション大会の中止は残念だったが、グラウンドゴルフで体を動かすことができてうれし」と話していました。

シルバースポーツに興味がある方は、社会福祉協議会までご連絡ください。





講座での様子

市と本会では、介護予防や地域の支え合い活動の担い手を養成する「地域のチカラ底上げ講座」を計4回開催し、約30名の市民の皆さんが参加しています。

本講座は、他市町の先進的な取り組みや市の実情、生活支援の方法などを学び、今後地域での居場所やちよっとした困りごとを助け合う活動等の充実強化につなげていくことを目的としています。

第1回では、鹿沼市千渡の高齢者らの居場所「和久井亭」での取り組みを学びました。和久井亭はデイサービス事業所ですが、地域住民と協力し合って活動していることで、関係性の充実が図られ、結果的に支え合いの地域づくりにつながっていることを学びました。また、地域住民と関係機関等が参加する地域の協議体「スマイル菊沢」も組織され、地域に共通する課題を整理し、車で買い物に行けない高齢者への無償移送サービスをスタートさせていました。

第2回では、本市で主体的な活動を行う実践者から、取り組みのきっかけや現状等を紹介していただきました。「家族の介護をしていた時に、ご近所からの声かけやちよっとした助けを受けたことが大きな支えとなった」との意見を聴いて参加者からは多くの共感をいただきました。また、「自治会役員を経験し、地域内で多くの情報や関わり合いを通して、つながりが増えお互い様の関係性が充実した」、「今後高齢期を迎えることを考え、今できることから始めよう」などと前向きな意見を聞くことができました。講座終了後も参加者の皆さんと意見交換をしながら今後の活動へとつなげていくことが期待されます。

今後、本市においても人口減少と少子高齢化が進展しますが、国では、誰もが役割と生きがいを持つ地域づくりを目指して、地域共生社会の実現を目指しています。

これらの動向を踏まえ、本会においても市と連携のもと、自ら介護等を予防する活動（自助）や、地域でお互いに支え合う活動（互助）づくりをより一層推進していくために、自治会や民生委員、関係機関・団体等の皆さまと共に進めて参りますので、引き続きご理解と活動への参加協力をよろしくお願ひ致します。



## こんにちは 民生委員・児童委員です

### 灯りを点けて

那須烏山市民児協

副会長 武石 実

「二、三日前から暗くなってもWさんの灯りが点かない」とお隣の奥さんが、私に知らせにきました。私はこの日から初めて生の民生委員としての活動が始まりました。Wさんはコンビニでろうそくを買い、夜を過ごしていたのです。大事にならずによかったと安堵しました。その後電気料金を支払い、灯りが点きました。Wさんは料金を滞納すると電気が切られることを理解できていなかったのです。水道やガスも同様でした。

この件をきっかけに、Wさんがこのまま「一人暮らし」続けるためにどうするかを真剣に考えました。Wさんの人生に掛かる問題だと思っただら、民生委員の行動範囲を超えることになっても、私が傍らで支えていくと腹を決めました。

その後の一連の行動は今までの自分ではないと思えるほど、Wさんのことに毎日時間を使いました。その後、Wさんのことを市の地域包括支援センターに相談してからは、私がWさんのために使った九割以上が公的支援を受けられ、一割だけ私が見守りしているだけになりました。成果があった、と強く感じました。お陰様で今では地域の方々もWさんの行動をよく見守っていただけるようになりました。

民生委員は常に地域の皆さんを気にかけて陰から見守っています。今では最初に私を民生委員に推薦してくれた方々に深く感謝しています。最後にWさんの近況をご報告します。毎日とてもお元気にマイペースで日々の生活をエンジョイしております。



# ボランティアセンターだより

## 「みんな一緒にがんばっぺプロジェクト」クリスマス編作成開始

コロナ禍により、福祉施設訪問ボランティア活動が縮小しているなか、福祉施設の利用者や職員に元気を届けたい、笑顔になってほしいとのボランティア団体の想いを受け、ボランティアセンターでは、敬老会編に引き続き、ボランティア団体と協力して、クリスマス編のDVDの作成を開始しました。

今回作成したDVDやボランティア団体からのプレゼント等は、市内福祉施設や市内幼稚園・保育園等に12月上旬にお届けを予定しています。

ご希望施設は、是非、社会福祉協議会まで、ご連絡ください。

●対象：市内福祉施設・幼稚園・保育園等

●費用：無料

●連絡先：那須烏山市社会福祉協議会ボランティアセンター ☎0287-88-7881



ボランティア関係の情報がありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております！！

問合せ先 市社会福祉協議会（ボランティア担当：石井・大森）☎88-7881

心配事相談 日常生活上のあらゆる心配ごとに応じます！	
場 所	期 日
本 所 (田野倉) (時間9:00~12:00) 保健福祉センター☎88-7881	12月16日(水) (行政・人権相談併催) 1月20日(水) (行政・人権・県民相談併催)
社協烏山支所(初音) (時間9:00~12:00) ☎84-1294	12月2日(水) (行政・人権相談併催) 1月6日(水) (行政・人権相談併催)

協力事業所と受注作業 (8・9月分)			
すずらん ☎88-0840		あすなる ☎82-3141	
丸星食品(株)	切干大根袋詰め	尙大森紙器	箱折り
㈱シオダ	ピン取り出し ・袋詰め他	エム・シー・アイ(株)	自動車部品選別等
尙菊地製作所	スベア組み他	尙坂本製作所	自動車部品選別等
		尙菊地製作所	ゴークルケース等

寄 付 (敬称略)	
8月1日~9月30日	
社会福祉振興基金	
こがやおお客様一同	4,988円
風月カントリークラブ	93,000円
善意銀行	
東北化工(株)	水、食品他 フードバンクへ払出
小瀬澤敏	ピアノ くれよんクラブへ払出

福祉サービス利用状況 (9月末現在)	
介護保険サービス	
ホームヘルプサービス	119件
ケアプラン作成	186件
介護予防ケアプラン作成	34件
介護保険以外のサービス	
障害者ホームヘルプ	7件
児童発達支援事業契約数	23件
放課後等デイサービス契約数	42件
障害児相談支援契約	96件
あすてらすサービス契約数	31件

**歳末たすけあい  
チャリティーショー  
開催を中止します**  
・問合せ 烏山地区民俗文化  
奉仕協会  
川俣 (☎84-3154)

アルミ缶 (単位:個) (敬称略) (8月1日~9月30日)			
すずらん ☎88-0840	あすなる ☎82-3141		
中山 寛行	850	相澤クリーニング	300
滝口 悟	50	阿相 すみ子	150
岩間 泉	189	石川 翔平	2,540
大野 伯恵	280	石橋ペイブ	450
高田 悦男	1,000	海野 篤史	300
野口 節	1,570	漆原 義孝	500
塩野ケイ子	300	絵本喫茶ばたぼん	1,350
(有)安藤家具	800	大島 靖久	380
塩野 勇	210	大谷 幸子	150
露久保 章	1,000	大谷 修一	150
横山 寛美	400	大山 則夫	50
JA女性会三箇支部	400	小野 幸夫	290
小池 つねお	100	大輪 邦男	300
横山 泰平	800	小川床屋	450
増淵 和夫	200	磯城東製作所	770
佐藤 隆	600	㈱カスヤモーターズ	300
碓氷 正和	258	上境上平協力者	580
塚原 喜一	200	上境上平 小森	540
吉川 次雄	400	上境中組協力者	1,050
愛和苑	2,000	釜蓋	840
(株)アヤラ産業	500	川上 泰夫	150
(株)矢崎部品	932	国井 新一	540
(株)日本技研	130	久保田屋旅館	150
(株)東北化工	950	黒須 正夫	750
関加工所	350	小泉 徳男	450
ペット園那須烏山	238	後藤 哲史	150
丸星食品(株)	450	小原沢自治会協力者	200
志鳥上自治会有志	1,500	小森 キヨ	310
大桶上自治会有志	3,800	坂田屋商店	680
大桶中自治会有志	400	坂本 信義	300
佐藤自動車整備工場	800	佐藤 謙夫	450
桑川康志朗	270	山なす南	80
植村 篤子	232	澤村 幸男	150
鈴木 喜代子	200	下境尼寺組協力者	150
桜井商店	400	下境後石原協力者	450
匿名	600	下境上自治会協力者	1,550
		下境西組協力者	1,220
		小規模多機能ホームなごみ	1,200
		白木屋	160
		関根 信行	1,200
		高田 正一	720
		高橋 一夫	750
		高橋 富次	80
		高橋 任	1,880
		堀 喜久子	150
		玉ちゃん餃子	1,960
		田村 圭之	1,500
		中央協力者	900
		東原商店	150
		東原 正記	300
		栃木県庁那須庁舎	600
		仲沢 瞳	530
		中村商店	160
		中山集落有志一同	5,750
		那須烏山商工会	1,140
		成瀬商店	530
		成瀬 一郎	750
		根本 章	710
		野上 明光	150
		野上のみつちゃん	450
		蓮見自動車	80
		八ヶ岳自治会協力者	3,050
		パソコンZAPP	560
		菱沼 裕嗣	300
		平野 中	150
		富士山苑	1,160
		益子 淳一	1,150
		森田城やな	600
		矢野 雄一	380
		山あげそば店	80
		南渡辺呉服店	240
		横山農機(有)	80
		吉沢 富夫	1,650
		和智 祐一	300
	(合計 23,359個)		(合計 50,670個)

社会福祉協議会は、皆さんの「心」に支えられて活動しています。ご理解とご協力をお願いします。